

また、保育所型認定こども園への移行を行う予定。問 ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業の3000万円の返還金について伺う。

答 新型コロナウイルスの影響を受け収入が減少した場合に、追加支給として5万円を支給する制度だが、当初想定していたよりも家計急変者が少なく、追加給付の対象者が想定数を大幅に下回ったことによる返還金。

問 生活保護事務の就労支援業務委託の内容は。

答 社会福祉士等の資格を持った専門職を配置し、組織として受託事業を管理できる法人を想定している。生活困窮の相談員と一体で委託し、就労と相談の連携が担保できる。

総務文教委員会

12月9日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。●福生市組織条例の一部を改正する条例

問 環境課が環境政策課とごみ減量対策課の2つに分割される理由を伺う。答 環境課は事務事業が広範囲に及び、これまで以上に効果的・効率的に環境政策やごみ減量対策等を展開できるようにするため。

●令和3年度福生市一般会計補正予算(第8号)

(総務文教委員会所管分) 問 歳入においての個人市民税の現年課税分が2億4200万円の補正となつているが、補正に至つた経緯は。

答 令和2年中の所得の減少は想定より少なく、令和3年度の市民税の課税状況は令和2年度と比較しても限定的な減額に留まる見込み。ここにきて当初予算を上回っているが、この先の不安は拭えないため、納付状況が安定している特別徴収分で増額の補正を行う。

問 一年間にわたる工事になると思うが、授業や子どもの安全との関係から、どのような工事になるのか。

答 令和4年3月の春季休業日間に職員室や事務室等を、令和4年7月からの夏季休業日期間を中心に普通教室及び特別教室の工事を行う予定で、学校側ともよく調整をして、教育活動への影響が最小限になるよう、安全第一で工事を実施していく。



市内小・中学校に配備予定の電子黒板

問 小学校ICT推進事業と中学校ICT推進事業の備品購入費について、当初予算ではなくなぜこの時期に予算化したのか。

答 現在、感染状況が落ち着いているが、感染拡大が生じた際には、分散登校を含めたオンライン学習が極めて重要になることから、早急により効果的なICT機器を活用した学習環境を整える必要があるため。

問 東京2020オリンピック

ピック・パラリンピック推進事業におけるパラリンピック聖火リレー採火式の実施委託料120万4000円の減額理由は。

答 当初予定していた式典会場を変更し、専用ステージ、音響設備等に関する経費削減をおこなったことと落札比率が低かつたため。

●福生第六小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約

問 一年間にわたる工事になると思うが、授業や子どもの安全との関係から、どのような工事になるのか。

答 令和4年3月の春季休業日間に職員室や事務室等を、令和4年7月からの夏季休業日期間を中心に普通教室及び特別教室の工事を行う予定で、学校側ともよく調整をして、教育活動への影響が最小限になるよう、安全第一で工事を実施していく。

議案運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め8回開催されました。



特別委員会活動から：

横田基地対策特別委員会

12月10日に委員会が開催され、1件の議題について審査しました。

1 横田基地に関する情報等について
①9月22日に仙台空港に、12月1日に館山航空基地に横田基地所属のCV-22オスプレイが予防着陸した。

②10月15日から18日にかけて、事前の情報提供がないまま、横田基地に戦闘機が飛来した。10月16日の飛行に対して10件の苦情があった。

③10月18日から28日にサムライ即応監視が実施され、PAS放送の苦情・問合せが6件あった。
④横田基地有志による公園清掃等のボランティア活動が行われ、10月29日に福東トモダチ公園で12人が、11月19日に福生かに坂公園で30人が参加した。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

11月4日に委員会が開催され、5件の議題について審査しました。

1 副委員の互選について
令和3年9月4日に杉山副委員長が逝去し不在となっていた副委員長に佐藤弘治委員が推選され決定した。

2 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について
福生市新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、令和3年9月17日から令和3年11月3日まで14回開催され、総計で176回となったとの報告があった。

令和3年9月30日の緊急事態宣言解除に伴う東京都の対応を踏まえたリバンド防止措置期間中、また期間後の公共施設の利用時間等の対応についての報告があった。

3 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
令和3年10月31日時点で、65歳以上の高齢者は1回目の接種率は91・65%、2回目の接種率は90・62%になっていると報告があった。全人口での接種率は1回目が74・20%、2回目が70・26%となっていると報告があった。

委員から、副反応についての対応状況について質疑があり、10月末日現在で集団接種会場において、ワクチン接種後に体調不良等により救護室を利用した方は173名で、主な症状は、めまい、手足のしびれ、嘔気といったもので、医師の診察、指示により15分から30分ベッドで安静後、帰宅したとの報告があった。

4 社会・経済活動について
これからの協議は、社会活動を中心とした市や教育委員会の事業に絞り、感染拡大前とコロナ禍での活動内容等を比較し、人と人とのつながりという観点も意識した調査研究をしていくことに決定した。

5 市議会感染症対応マニュアルについて
愛媛県大洲市議会の感染症対応マニュアルについて調査研究を行った。

令和3年12月5日時点で、65歳以上の高齢者の2回目の接種率は91・68%、全人口での接種率は74・88%との報告があった。

3回目の追加接種は、医療従事者等2回接種後8か月経過した者から随時開始するとの報告があった。

3 社会・経済活動について
生涯学習活動では、福生市成人式は、写真スポットを6か所設定するなど、密にならない感染症対策を行いつつながら、無事挙行したとの報告があった。

公民館活動では、池上彰氏による特別講演会を開催した。感染症対策として来場者の連絡先を把握し、座席指定として座席番号を記載した往復はがきを当日の入場券とした等の報告があった。

4 市議会感染症対応マニュアルについて
前回協議した、愛媛県大洲市議会の感染症対応マニュアルを参考に、福生市議会の意向を反映した素案を作成し、次回協議することとなった。

令和3年11月14日から令和3年12月8日まで7回開催され、総計で184回となったとの報告があった。

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業について
福生市新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、令和3年11月14日から令和3年12月8日まで7回開催され、総計で184回となったとの報告があった。

1 福生市における新型コロナウイルス感染症対策について
福生市新型コロナウイルス感染症対策本部会議は、令和3年11月14日から令和3年12月8日まで7回開催され、総計で184回となったとの報告があった。

令和3年10月31日時点で、65歳以上の高齢者は1回目の接種率は91・65%、2回目の接種率は90・62%になっていると報告があった。全人口での接種率は1回目が74・20%、2回目が70・26%となっていると報告があった。

令和3年10月31日時点で、65歳以上の高齢者は1回目の接種率は91・65%、2回目の接種率は90・62%になっていると報告があった。全人口での接種率は1回目が74・20%、2回目が70・26%となっていると報告があった。



池上彰氏講演会の様子

編集後記

今定例会は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束化が見られる一方、新たな変異株の発生もあり、引き続き感染症対策を講じての開催となりました。そのような状況ではありましたが、計画どおり、タブレット端末iPadを用いた本会議・委員会等の試行実施を行いました。

紙資料も配布されましたが、議案書や予算書等は全てデータ化しました。ほとんどの議員がiPadのデータを見ながら審議しました。

一般質問も原稿と提示資料をデータ化し、質問席で画面を操作しながら行いました。慣れないながらも、全議員が積極的にタブレット端末を用い、新たな時代の議会を創り上げていこうという意気込みで臨みました。

今回の取り組みをしっかり検証し、令和4年3月からの本格実施につなげていきます。

また、LINEWORKSアプリを用いた災害対応訓練(10月17日実施)も行いました。各議員の安否確認はもちろん、地域の災害状況を文字と映像によって情報共有を図るとともに、災害対策本部にも情報を送る等の訓練もし、災害への備えを進めることができました。

前回協議した、愛媛県大洲市議会の感染症対応マニュアルを参考に、福生市議会の意向を反映した素案を作成し、次回協議することとなった。